

# UCS 240M4 サーバの両方の起動ディスクの失敗を- CPAR 処理して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[両方 HDDs 失敗](#)

[両方計算サーバの HDDs 失敗](#)

[両方コントローラサーバの HDDs 失敗](#)

[両方 OSD 計算サーバの HDDs 失敗](#)

[両方 OSPD サーバの HDDs 失敗](#)

## 概要

この資料が Ultra-M セットアップのサーバの不良な HDD ドライブの両方を交換するために必要なステップを記述したものです。このプロシージャは ESC が Cisco Prime Access Registrar (CPAR を管理しない) ニュートンバージョンの使用の OpenStack 環境に適用され、CPAR は OpenStack で展開される VM で直接インストールされています。

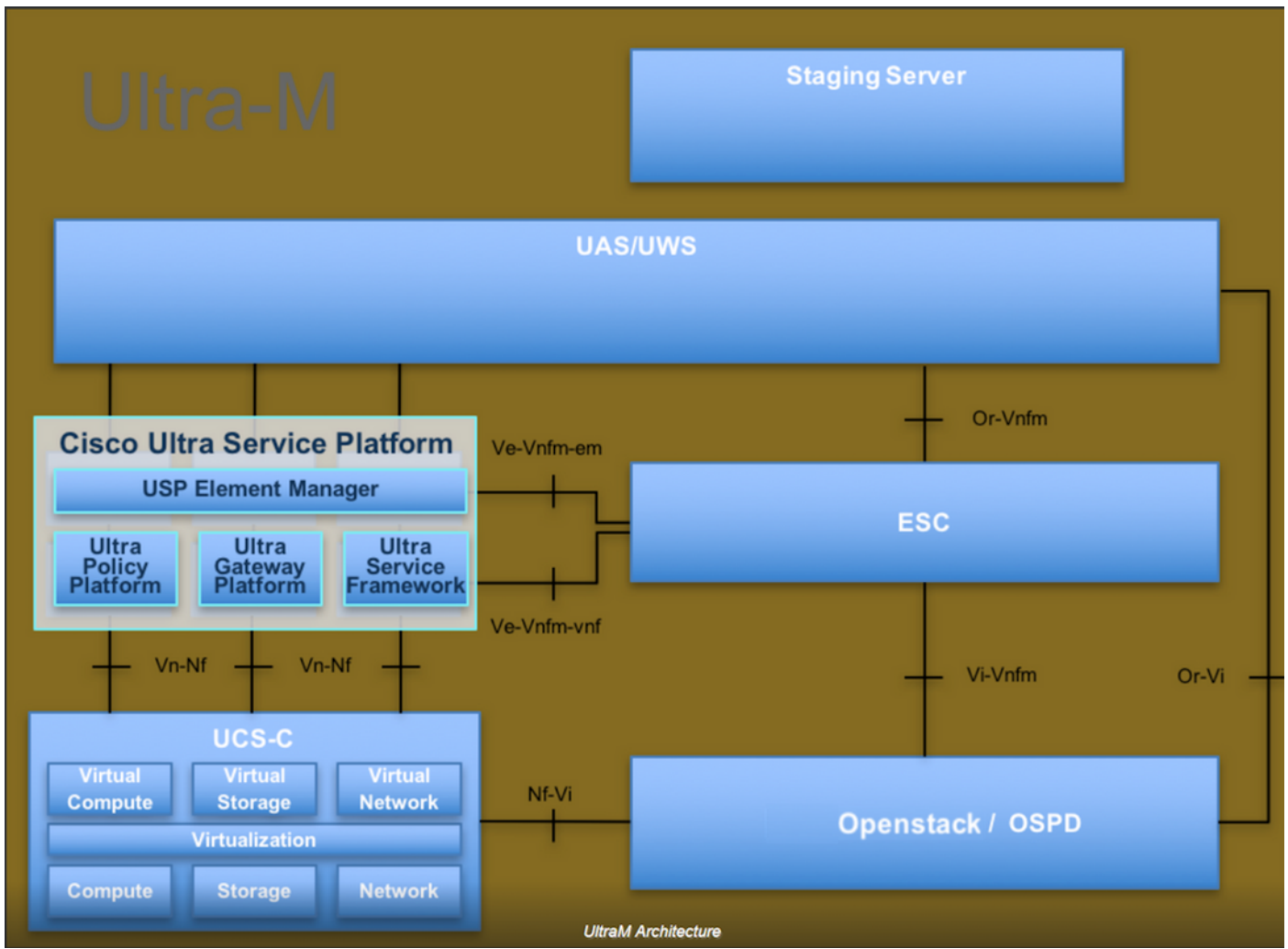
Karthikeyan Dachanamoorthy および Harshita Bhardwaj によって貢献される、Cisco アドバンスド サービス。

## 背景説明

Ultra-M は VNFs の配備を簡素化するように設計されている事前包装され、検証された仮想化されたモバイル パケット コア ソリューションです。OpenStack は Ultra-M のための Virtualized Infrastructure Manager (VIM) で、これらのノードタイプで構成されています:

- 計算
- オブジェクトストレージ ディスク-計算 (OSD -計算)
- コントローラ
- OpenStack プラットフォーム-ディレクター (OSPD)

Ultra-M の高レベル アーキテクチャおよび含まれるコンポーネントはこのイメージで描写されます:



この資料は Cisco Ultra-M プラットフォームについて詳しく知っている OpenStack および RedHat OS で遂行されることを必要なステップを詳述します Cisco社員ののために意図され。

注: 超 M 5.1.x リリースはこの資料の手順を定義するために考慮されます。

## 省略形

- MOP プロシージャの方式
- OSD オブジェクトストレージ ディスク
- OSPD OpenStack プラットフォーム ディレクター
- HDD ハードディスク ドライブ
- SSD ソリッドステート ドライブ
- VIM 仮想な インフラストラクチャ マネージャ
- VM 仮想マシン
- EM Element Manager
- UAS Ultra Automation Services
- UUID ユニバーサル固有の識別番号

## 両方 HDDs 失敗

各ベアメタル サーバは 2 つの HDD ドライブと侵略 1 設定の起動ディスクとして行動するために提供されます。単一 HDD 失敗の場合には、RAID 1 水平な冗長性があるので、不良な HDD ドライブはホットスワップすることができます。ただし、HDD ドライブが両方とも失敗する場合、サーバはダウンし、サーバにアクセスを失います。アクセスをサーバおよびサービスに復元するために、HDDs 両方のドライブを交換し、スタックを曇らせるためにサーバを追加することを必要とし、既に存在します。

UCS C240 M4 サーバの欠陥のあるコンポーネントを交換するプロシージャはから参照することができます: [サーバコンポーネントの交換](#)。

両方の場合には HDDs 失敗は、これら二つの同じ UCS 240M4 サーバの不良な HDDs を取り替えます、それ故に新しいディスクを取付けた後だけ BIOS アップグレード手順が必要となりません。

OpenStack では Ultra-M ソリューションを、UCS 240M4 ベアメタル サーバこれらのロールの 1 つをとることができます基づかせていました: 計算、OSD 計算、コントローラおよび OSPD。これらのサーバー ロールのそれぞれの両方の HDD 失敗を処理するために必要なステップがこれらのセクションで述べられます。

---

**注:** HDD ディスクが両方とも健全であるが、他のハードウェアが UCS 240M4 サーバで不良であるシナリオでは、UCS 240M4 を新しいハードウェアによって取り替えて下さいしかし同じ HDD ドライブを再使用して下さい。ただし、この場合、HDD ドライブだけ不良です、従って同じ UCS 240M4 を再使用し、新しい HDD ドライブと不良な HDD ドライブを交換できます。

---

## 両方計算サーバの HDDs 失敗

両方の HDD ドライブの失敗が計算ノードとして機能する UCS 240M4 で観察されたら、屈服されるように交換手順に従って下さい。

## 両方コントローラ サーバの HDDs 失敗

両方の HDD ドライブの障害が Controller ノードとして機能する UCS 240M4 で観察されたら、屈服されるように交換手順に従って下さい。コントローラ サーバが両方 HDDs 障害をために観察するセキュア シェル (SSH) によって到達可能ではないので正常なシャットダウン プロシージャを行う、以前に述べられたリンクにログイン別の Controller ノード リストしましたことができます。

## 両方 OSD 計算サーバの HDDs 失敗

両方の HDD ドライブの失敗が OSD 計算ノードとして機能する UCS 240M4 で観察されたら、屈服されるように交換手順に従って下さい。ここに述べられるプロシージャでは Ceph ストレージ正常なシャットダウンは失敗が両方ともサーバの unreachability という結果に終ると同時に実行されたことができません。従って、これらのステップを無視して下さい。

## 両方 OSPD サーバの HDDs 失敗

両方の HDD ドライブの失敗が OSPD ノードとして機能する UCS 240M4 で観察されたら、屈服

されるように交換手順に従って下さい。この場合、以前に保存された OSPD バックアップは完全なスタック転用のよう HDD ディスク 置換の後でリストアのために必要、他それです。

これを参照して下さい。